

# 学習指導案の形式（例） 中学校国語科

第〇学年〇組 国語科 学習指導案

令和〇年〇月〇日（〇）第〇校時 〇〇教室 指導者 〇〇 〇〇

1 単元名 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 ~ 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 ~  
 教材名 「〇〇〇〇〇〇〇」 (出版社名、学年)

◇まとまりをもった教育内容の単位の名称を書く。名称の工夫として、「単元名」には当該単元に位置付ける言語活動を書く。副題を付ける場合、当該単元で重点とする指導事項を書くことなどが考えられる。

## 2 単元の目標

- (1) 「知識及び技能」に関する目標 (例：～できる。) [知識及び技能] (1)ウ
- (2) 「思考力、判断力、表現力等」に関する目標 (例：～できる。) [思考力、判断力、表現力等] A (1)イ
- (3) 「学びに向かう力、人間性等」に関する目標 (例：～しようとする。) 「学びに向かう力、人間性等」

◇学習指導要領の目標及び内容（指導事項）を踏まえて設定する。  
 ◇ねらいを明確にするために、(2)「思考力、判断力、表現力等」では、「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」「C 読むこと」の3領域から観点を絞ることが望ましい。  
 (3)「学びに向かう力、人間性等」は、いずれの単元においても当該学年の学年の目標である「言葉がもつ価値～思いや考えを伝え合おうとする。」までを示す。  
 ◇(1)(2)の文末には、〔資質・能力名〕と指導事項を記号で明記する。(3)の文末には、「学びに向かう力、人間性等」と明記する。  
 ◇生徒の立場で書く。

## 3 単元で取り上げる言語活動

例：〇〇〇〇〇について～を話したり、それらを聞いて意見を述べたりする。  
 (関連：言語活動例ア)

◇生徒の実態を踏まえて言語活動を設定する。文末には関連する言語活動例を記号で明記する。

## 4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①例：～している。(1)ウ	①例：「話すこと・聞くこと」において、～している。A (1)イ	①例：～しようとしている。

◇「知識・技能」の評価規準は、当該単元で育成を目指す資質・能力に該当する指導事項の文末を「～している。」として作成する。文末には、指導事項を記号で明記する。  
 ◇「思考・判断・表現」の評価規準は、当該単元で育成を目指す資質・能力に該当する指導事項の冒頭に、指導する一領域を「(領域名)において、」と明記し、文末を「～している。」として作成する。文末には、指導事項を記号で明記する。  
 ◇「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準は、以下の①から④の内容を全て含め、単元の目標や学習内容等に応じて設定する。文末は「～しようとしている。」として作成する。  
 なお、〈 〉内の言葉は、当該内容の学習状況を例示したものであり、これ以外も想定される。  
 ①粘り強さ〈積極的に、進んで、粘り強く等〉  
 ②自らの学習の調整〈学習の見通しをもって、学習課題に沿って、今までの学習を生かして等〉  
 ③他の2観点において重点とする内容(特に、粘り強さを発揮してほしい内容)  
 ④当該単元の具体的な言語活動(自らの学習の調整が必要となる具体的な言語活動)

5 指導と評価の計画（全○時間）

次	時	ねらい・学習活動	評価規準及び評価方法
一	1	・例：～できる。 ～の見通しをもつ。～を書く。	○〔観点①〕（方法） ・例：～している。 ～しようとしている。  ◇「4 単元の評価規準」の観点と一致させ、番号でつなげて書く。
	2	◇ねらいを明確にして書く。 ◇生徒の立場で書く。	
二	1		○〔思考・判断・表現①〕（観察・ワークシート） ・～している。
	2		◎〔知識・技能①〕（ワークシート） ・～している。
	3		
三	1		◎〔主体的に学習に取り組む態度①〕（観察・振り返りシート） ・～しようとしている。

- ◇「評価規準及び評価方法」は、単元全体を見通して「指導に生かす評価」と「記録に残す評価」を精選して位置付ける。「◎」印は、評価規準に照らして、生徒全員の学習状況を「記録に残す評価」の場面として例示している。「○」印は、主に「指導に生かす評価」の場面として例示している。生徒の学習状況を見取り、次の指導改善につなげたり、生徒の学習改善につながるように、積極的に個人内評価を行ったりする等が考えられる。
- ◇適切な評価をするために、単元の評価規準を基に、ねらいや学習活動を踏まえて、具体的に「評価規準及び評価方法」を設定しておくことが望まれる。

6 指導上の立場

- 単元観
  - 生徒観
  - 指導観
  - 研究主題との関連
  - 全国及び県学力・学習状況調査との関連
- ◇指導者の立場で書く。

- ◇単元観…本単元で身に付けさせたい資質・能力、位置付ける言語活動とその特徴等を書く。
- ◇生徒観…本単元に関する興味・関心、資質・能力の状況、既習の言語活動等について書く。本単元において目指す生徒の姿等について書く。
- ◇指導観…指導・支援の重点、学習形態、その他の配慮事項等、生徒のよさや可能性を生かすような指導方法の工夫等を書く。
- ◇研究主題との関連…研究主題の説明を簡潔に書き、研究主題と授業における指導方法の工夫等との関連等を書く。
- ◇全国及び県学力・学習状況調査との関連…現状と課題、課題についての取組等を書く。

7 本時案（第○次 第○時）

- (1) 本時の目標  
例：～することができる。

- ◇「2 単元の目標」「5 指導と評価の計画」と整合を図る。  
◇本時の評価規準との整合を図る。

(2) 展 開

学習活動	教師の指導・支援	評価規準及び評価方法
<p>1</p> <p>◇生徒の立場で書く。</p>	<p>○</p> <p>◇指導者の立場で書く。</p>	<p>◇生徒の立場で書く。</p>
<p>2 (1)</p> <p>◇活動に順序がある場合は、(1)(2)で書く。</p>	<p>めあて</p> <p>◇生徒の目的意識のまとまりを踏まえて、何をどのように学ぶのかを明確にして本時のめあてを書く。</p>	<p>◇本時の目標と整合した評価規準を具体的に書く。抽象的ではなく、実際可能なレベルで具体化する。</p>
<p>(2)</p> <p>例：～について話し合う。</p>	<p>○例：～することで、～できるようにする。</p>	<p>◇評価の場面は1、2箇所を絞る。</p>
<p>◇導入・展開・終末の学習過程に沿って、生徒の学習活動を具体的に書く。</p> <p>◇授業展開については、「岡山型学習指導のスタンダード（授業5）」を参考にする。</p>	<p>◇学習活動に沿って、指導・支援の意図、指導方法の工夫等について留意すべきことを具体的に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が主体的に学習を進めるための手だて</li> <li>・生徒が対話的に学習を進めるための手だて</li> <li>・生徒が学習を深めるための手だて</li> <li>・生徒一人一人の学習状況に応じた手だて</li> <li>・予想される生徒の反応</li> <li>・資料提示のタイミングや方法</li> <li>・効果的な学習方法や学習形態の工夫・準備物等</li> </ul> <p>◇学習活動と教師の指導・支援との関わりを対応させて書く。</p> <p>◇「努力を要する」状況（C）と判断される生徒への手だてを書く。</p>	<p>◇評価規準に合わせ、評価の観点と指導事項を記す。</p> <p>◇評価方法を具体的に書く。</p>
<p>3</p>	<p>○例：～している。</p>	<p>○例：～している。</p> <p>A(1)イ [評価の観点] (評価方法)</p>
<p>4</p>	<p>○</p> <p>まとめ</p> <p>◇本時に何を学んだのかが分かるように整理し、本時のめあてと対応したまとめを書く。</p>	<p>◇評価方法の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発言の内容</li> <li>・行動の観察</li> <li>・ノート、ワークシートの記述等</li> </ul>
<p>5</p>	<p>○</p> <p>◇学習の成果が自覚できる振り返りの視点を明確にして書く。振り返りの視点は、『岡山型学習指導のスタンダード【増補版】授業改善「一歩先へ！」』を参考にする。</p>	

◎「おおむね満足できる」状況（B）と判断する生徒の姿 例：～している。

◇本時の評価規準に照らして、本時でねらう生徒の姿について、想定される生徒の発言や記述例等を取り入れながら具体的に書く。なお、ここに挙げる具体的な生徒の姿が、どのような指導によって表れるのか等、指導と評価のつながりを意識して書く。